

兵庫保険医新聞

第2114号

2025年10月5日

発行所 兵庫県保険医協会

http://www.hhk.jp/

〒650-0024 神戸市中央区海岸通1丁目2-31

神戸フコク生命海岸通ビル5F ☎078-393-1801

(1部350円送料共・年間購読料12,000円)

振替01190-1-2133

(会員の購読料は会費に含まれています)

今号の記事

第34回 ひまわり号

ボランティア参加、募金にご協力を

2面

審査対策部だより「審査委員名簿」

3面

第34回日常診療経験交流会プログラム

8面

秋の共済制度募集 好評受付中!!

2面に案内

資料請求は右のフォームから
お問い合わせは、

☎078-393-1805 共済部まで



神戸市長選挙(10/26) 岡崎史典氏と政策協定

市民生活応援の市政へ転換を!



【おかざき ふみのり】1968年生まれ。兵庫県労働組合総連合事務局次長。「神戸・市民要求を実現する会」などの市民団体の事務局長として神戸市政にかかわる運動の先頭に立つ。

市民にあたたかい
神戸をつくる会

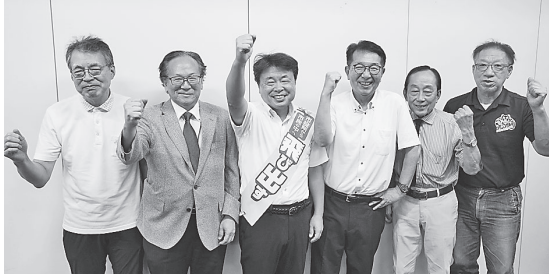
岡崎 史典氏

神戸市長選挙にあたって、協会神戸支部は9月25日の幹事会で、「2025年神戸市長選挙にあたって開業保険医師、及び歯科医師の重点要求(案)」(以下、要求案、5面に掲載)を討議。現在の久元喜造市政について、「中学生以下の医療費無料化を撤回し市民負担を増やす一方、医療機関の窮状に手を差し伸べず、三宮再整備や湾岸道路など大型開発に数億円を投じている」と批判。今回の市長選挙を要求実現の機会として位置づけることを

大型開発優先の神戸市政を転換し医療機関と市民の命・健康を守ろう。協会と同神戸支部は10月26日投票の神戸市長選挙にあたって、9月25日の支部幹事会と9月27日の理事会で、市長選挙への立候補表明を行っている「神戸・市民要求を実現する会」の事務局長であり、「市民にあたたかい神戸をつくる会」が擁立した無所属候補である岡崎史典氏と政策協定を行った上で、支持推薦することを承認。10月4日に岡崎氏本人と「2025年神戸市長選挙にあたって開業保険医師、および歯科医師の重点要求(案)」(5面)の全項目について合意し、支持推薦を行った。

確認した。

その上で、今回「市民にあたたかい神戸をつくる会」が擁立した無所属候補である岡崎史典氏は、久元市政の転換をめざすとともに、「神戸・市民要求を実現する会」や「原発をなくし自然エネルギーを推進する兵庫の会」の事務局長を務めるなど、これまで協会や神戸支部が参加する市民運動とともに進めてきた経験から、岡崎氏と懇談し、政策協定の締結を行った上で、支持・推薦を決定することを確認した。



岡崎氏を激励する西山裕康理事長(左2人目)と田中孝明支部長(右3人目)ら神戸支部役員

とを確認した。神戸支部の決定を受け、9月27日の理事会では、歴史的経過も踏まえて「神戸市は兵庫県と同等の重みをもつ政令指定都市であり、神戸市長選挙において特定の候補を協会本体が支持推薦することができ」と確認。神戸支部と同様、政策協定の締結を行った上で、支持・推薦を決定することを確認した。これを受け、10月4日、西山裕康理事長らが、岡崎氏に「要求案」を示して、政策協定について協議した。

地域の医療関係者の意見を聞き、丁寧に進めるべきだ」などと訴えた。岡崎氏は「ご指摘はその通り。同じ政令市でも、大阪市や仙台市では、独自に医療機関の経営を支える努力をしている。医療を守ることは、市民の命と健康に責任を持つ自治体として当然。そうしたことを、スピード感を持ってできる市政に転換したい」と決意を述べ、「要求案」を医療分野政策の中心に位置付けてたたかうことを強調し、政策協定に調印した。

選挙活動は「有志の会」で

方針では、協会として支持推薦を行うものの、個々の会員の思想・信条・政治活動の自由を保障する立場から、選挙活動は協会とは別に「有志の会」で行い、有志の会への賛同を呼びかける。

※有志の会アピールを5面に掲載。また、本号に募金用紙を同封しています。ご協力をお願いします。

第34回 日常診療経験交流会へご参加を

医療DXや健康格差

多職種で考える機会に

理事長 西山 裕康



日常診療の現場での経験を多職種で共有し、地域医療の質を高めることを目的に、毎年10月に開催している「日常診療経験交流会」(通称:日

常診療経験交流会)は、今年も10月10日に開催している「日常診療経験交流会」(通称:日

常診療)。第34回となる今年は、「ネット社会の危うさと医療のかかわり」をメインテーマに、10月26日(日)10時より、兵庫県保険医協会会議室にて開催いたします(特別講演と分科会の一部はZoomによるオンライン参加も可能です)。

政府は近年、DX(デジタルトランスフォーメーション)

今年の特講演には、千葉大学名誉教授の近藤克則先生をお迎えし、「健康格差の縮小は可能か?」と題して、25年にわたる研究成果をご講演

いただきます。所得と健康の関係、格差の構造と対策について、深い示唆が得られる内容です。

分科会では、医師・歯科医師・薬剤師・看護師・歯科技士など多職種による報告が予定されており、ICT化や医療DX、地域連携、在宅ケア、PFAS(有機フッ素化合物)問題、やさしい日本語など、日常診療に根ざした多彩なテーマが取り上げられます。

医療の現場で日々奮闘されている先生方、ご家族、スタッフの皆様のご参加を心よりお待ちしております。来場・

兵庫県保険医協会第106回評議員会

臨時(決算)総会・第48回共済制度委員会

11月16日(日) 13時~17時30分 兵庫県保険医協会会議室

・13時~ 第106回評議員会 ・14時50分~ 臨時(決算)総会

・15時~ 第48回共済制度委員会

特別報告「日銀利上げ局面での金融市場見通しと新たな運用手法の潮流」

大樹生命保険株式会社 執行役員 山崎 亮氏

・16時10分~ 特別講演

「『社会的投資国家』に学ぶ日本の戦略」

諸富 徹氏(京都大学公共政策大学院教授)(写真)

お申し込み・お問い合わせは、☎078-393-1817まで



燭心

特にスポーツに興味がありませんが、ニュースで世界陸上・走高跳があった。世界記録は2・45mとのことだ。

いかに身長が高いといえこの高さを飛び越えるのは信じがたい感がある。地道な練習・訓練方法のおかげだろうが、人間の身体能力の凄さに驚く。世界陸上は日本での開催だが、世界バレーはフィリピン開催だ▼ふと思ったことがある。このようにトップアスリートが競い合う世界大会、ゴルフ・サッカー・ラグビー・水泳・バレーボールなどなどワールドカップ、世界大会は各地で地元施設を使い盛んに開催されリアルタイムに放送されている▼4年ごとのオリンピック、今日的に考えてみると無駄が多いように感じる。宿泊所、選手村、競技場などの建設問題、警備の人員、食事の準備等々。さらに利権がらみがかなり濃厚で、政府の強引な誘致活動も目立つ。忘れられないのがコロナ禍で開催が一年遅れた東京オリンピック。誘致する際に当時の安倍首相は「福島原発事故の汚染水はコントロール下にある」と言ったこと▼もう一つ印象に残ったのは、最近排外主義傾向が強みられるが、片親が外国人の日本人選手が増加してきている事実。プロテニス、プロバスケなどでは馴染み、今回の世界陸上でも、同様の日本人選手が多く見受けられるようになった。時代の流れであろう。世界中の人々が等しく交流できている事実の表れとも感じる。自然な現象であり、排除ではなく「人権」を大切にすることが重要だ。(無)

～障がい者の夢を乗せて走る～フレンドシップトレイン 第34回 ひまわり号 ボランティア参加、募金にご協力ください

理事長 西山 裕康



今年、コロナ禍以降6年ぶりに、障がい者の夢と希望を乗せて団体列車「ひまわり号」が走ります。

第34回となる今年のひまわり号は、11月9日(日)、滋賀県彦根市への旅を予定しています。彦根城博物館やキャッスルロードの散策を通じて、障がいのある方もそうでない方も、共に旅を楽しみ、理解を深め、思いを共有する一日となることを願っています。

障がい者は、生まれつきのものだけでなく、病気や事故、心身の老化などによって、誰もが経験する可能性のあるものです。その辛さは、実際に経験してこそ実感できるもの。高齢化が進む日本において、障がい者と健常者の間に明確な線引きはできません。

まちづくりの考え方も、「バリアフリー」から「ユニバーサルデザイン」へと進化し、誰もが暮らしやすい社会を目指す動きが広がっています。しかし、列車での外出には、ホームと車両の隙間や段差など、障がい者にとって命にかかわる危険が潜んでおり、まだまだ安心して利用できるとは言えません。

だからこそ、「いつでも、だれでも、どこへでも、安心して利用できる交通のしくみ」と、「誰もが安心して住み続けられるまちづくり」を求めていくことが、今の社会に必要です。

「ひまわり号」は、障がい者だけでなく、すべての人の夢と希望の実現に向かって走ります。参加者を「介助する側／される側」として分けるのではなく、「ともに旅を楽しむ仲間」として、協力し合いながら一日を過ごします。

ボランティア参加が可能な方は、本号にお申し込み用紙を同封しておりますので、FAXでお申し込みください。当日のご参加が難しい方も、ぜひ募金でのご支援をお願いいたします。

日時 11月9日(日) 雨天決行
JR神戸駅またはJR明石駅に7時50分集合、18時30分頃解散予定
行先 明石・神戸発～滋賀県彦根市
主催 ひまわり号を走らせる神戸実行委員会

※ボランティアへご協力いただける方…同封のお申し込み用紙にご記入の上FAXでご返送ください。改めて詳細をご連絡いたします。
※募金にご協力いただける方…下記口座へお振込みをお願いします。
振込口座：三井住友銀行 神戸営業部 普通 9088160
ヒョウゴケンホケンイキヨウカイ

お問い合わせは、☎078-393-1840 協会事務局 伊地知まで

地域医療を守るため診療報酬の大幅引き上げを!!

医師・歯科医師の声 各地から

来春の2026年診療報酬改定に向けて、協会が取り組む医師・歯科医師署名。「期中改定や、国の責任による補助金等での緊急財政措置を早急に行うこと」「26年診療報酬改定で少なくとも10%以上の大幅な引き上げ」「患者窓口負担の大幅軽減」の3点を求めるもので、県内各地の会員医療機関から連日多数の署名と切実なメッセージが寄せられ、署名は9/27までに300筆を超えている。

寄せられた声の一部を紹介する。

・物価高騰、光熱水費上昇、人件費上昇で、経営が大変苦しくなっています。シンブルに初診料、再診料の適正な価格への引き上げを切にお願い致します。
(赤穂市)

・物価高に合わせた診療報酬をあげ、自由診療との整合性を。(西宮市・勤務医)

・直ちに、補助金を給付してください。来年の診療報酬改定では遅すぎて間に合いません。
(宝塚市)

・経営が厳しく、来年度以降の閉院を検討しています。
(川西市)

・従業員給与の手取りアップが政府によって掲げられているが、保険点数が同じようにプラスになっていないのは明らかにおかしい。小規模事業所がおかれている現状の改善を望む。
(川西市・歯科)

・消費税のぶんどもまかなえない。物価、賃金増に全く対応できない。検査会社もメンテナンスコストもすべて上昇している。やっていけなくなる。
(芦屋市)

・若年癌患者や難病患者の負担も減らしてほしい(3割以下削減など)
(東灘区)

署名用紙を
本号同封

協会の取り組む
「緊急財政措置と診療報酬の大幅引き上げを求める」
医師・歯科医師署名にご協力ください

協会では、2026年診療報酬改定に向けて、医師・歯科医師署名に取り組んでいます。
長らく続く政府の低医療費政策に加え、この間の物価高騰で、多くの医療機関の経営が悪化しています。この現状を打開するために、ぜひ、ご協力をお願いします。

【オンライン署名は】
こちらから



理事会 スポット

◇出席者 23人
◇確認事項 機関会議の主な予定と内容…評議員会・共済制度委員会・決算総会(11/16、共済制度委員会特別報告「最近の金融動向と保険医協会の共済(仮)」講師・山崎亮大樹生命執行役員、評議員会特別講演「社会的投資国家」に学ぶ日本の戦略」講師・諸富徹京都大学公共政策大学院教授)が確認された。
◇情勢 厚労省は2026年度予算で過去最大の34・8兆円を要求し、医師偏在是正や地域医療構想実現に向けた新規事業を多数計上。診療所承継・開業支援、市町村の医師確保モデル、広域マッチングを予算・税制両面で強化。地域包括ケア推進やDX、救急

・医薬品供給も重点化する。
◇医療運動対策 ⅰ)「生活保護基準引下げは違法!厚生労働大臣は最高裁判決を受け入れて謝罪し、一刻も早く違法状態を是正してください」署名への協力、ⅱ)「ALS新薬『ロゼバリン』筋注用25mg」早期出荷に関する要望」を福岡資麿厚生労働大臣ならびにエーザイに提出すること、ⅲ)木村英子参議院議員との協議、ⅳ)国会要請行動(9/24)が了承された。
◇日常診療経験交流会(10/26、メインテーマ「ネット社会の危うさと医療のかかわり」について、演題発表予定が20に上っていること、各支部から地域特産品の提供を受けること、フレ企画である心肺蘇生法実技講習会(9/6)に82人が参加したことが報告された。
(9月13日 理事会より)

秋の共済募集 好評受付中!

ドクターに最適を提供します

協会の共済制度

◇保険料が断然安い!
介護保険Sasa*L(ササエル)

◇医事紛争リスクに/
医師賠償責任保険

◇もっとあるリスクに/
自動車保険、火災保険
医療保険、ガン保険

あっちこっちで保険に入ったから整理がつかない
協会の共済はご加入内容をまとめて管理。ワンストップサービスを提供します。



◇老後リスクに/
しっかり増やす貯蓄型保険

保険医年金

加入者数5万人、
積立金総額1兆3千億円

+

もっと便利な積立保険

積立年金DefL

秋は一時払の増額受付のみ



※労務トラブルに関する保険もお問い合わせください!

◇死亡リスクに/
格安の保険料と高い配当還元

グループ保険

+

新グループ保険



◇休業リスクに/
非営利だからコスパが秀逸

休業保障制度

+

所得補償保険

休業損害補償
天災や水漏れによる休業損害も安心



協会の共済制度でドクターもスタッフも安心

お問合わせは共済部まで

☎ 078-393-1805

審査対策部だより

支払基金・国保連合会の審査委員名簿

協会は、社会保険診療報酬支払基金兵庫支部および兵庫県に対し、本年6月に改選された診療報酬審査委員会委員名簿の開示請求を行い、名簿が公開されたので掲載する。審査委員の任期は2年（2025年6月～2027年5月）。支払基金の委員名には協会で医・歯・薬を付した。なお、新任の審査委員には下線を付した。

兵庫県社会保険診療報酬支払基金審査委員名簿

明石 恭治・医	葛原 啓・医	塚本 好彦・医	古橋 淳夫・医	伊豆田 聖・歯
浅野 達藏・医	工藤 宏計・医	築部 卓郎・医	牧野 仁・医	井上 俊治・歯
安藤 健治・医	栗本 康夫・医	辻 壽・医	松田 良信・医	浦野 雅彦・歯
飯尾 純・医	黒田 祐一・医	辻本 英明・医	松村 勝・医	金村 洋一・歯
家田 泰浩・医	古賀 正史・医	角田 雅也・医	松本 修・医	川越 弘就・歯
五百蔵智明・医	古形 芳則・医	戸田 和夫・医	松本 健・医	岸 和久・歯
石川 朗宏・医	小坂 正・医	戸根幸太郎・医	眞庭 謙昌・医	岸本 裕充・歯
石原 健造・医	後藤 義人・医	中神 祐介・医	丸山修一郎・医	郷田 祥二・歯
石原 正治・医	齊藤 清治・医	中川 修史・医	三浦 一樹・医	西條 眞悟・歯
市橋 宏亮・医	齋藤 実・医	中田 邦也・医	三木 誠・医	櫻井 章雄・歯
伊藤 康夫・医	三枝 康宏・医	長野 徹・医	水谷 伸・医	澤村 英明・歯
乾 由明・医	阪井 宏彰・医	中原 保治・医	水野 秀隆・医	高瀬 昌幸・歯
入江正一郎・医	阪上 義雄・医	中村 徹・医	宮崎 栄二・医	高橋 研之・歯
上芝 伴尚・医	佐藤 哲夫・医	仁木 敏晴・医	宮崎 睦雄・医	谷池 直樹・歯
植田 孝・医	塩田 麻理・医	西村 善博・医	深山 鉄平・医	富田 真一・歯
上野 洋・医	四ノ宮 隆・医	信永 敏克・医	村岡 章弘・医	中川 博喜・歯
宇座 徳光・医	島 正彦・医	野間 研一・医	森 岳樹・医	中町 守人・歯
内山 敏行・医	志水賢一郎・医	白 鴻泰・医	森田 宏紀・医	西原 一雅・歯
内海 浩彦・医	白川 勝朗・医	橋村 孝久・医	森 博子・医	波戸本 均・歯
梅本 善哉・医	白野 純子・医	八若 博司・医	薬師神公和・医	花岡 敬三・歯
太田 國隆・医	杉本 貴樹・医	濱岡 守・医	安田 義・医	春木 隆伸・歯
大西 淳子・医	須田研一郎・医	早川みち子・医	安福 正男・医	日置 英徳・歯
岡本 隆弘・医	左右田裕生・医	林 孝俊・医	山川 勝・医	平田 幸男・歯
岡田 昌也・医	高橋 明広・医	原田 健次・医	山口 務・医	福島 和弘・歯
岡林 孝直・医	高橋 修一・医	原田 晋・医	山中 義夫・医	堀畑 勝巳・歯
岡山 明洙・医	高橋 洋二・医	東山 洋・医	山本 聡・医	水尻 大希・歯
鬼木俊太郎・医	武木田誠一・医	平林 宏章・医	山本 修士・医	森山 浩・歯
貝原 聡・医	竹島 泰弘・医	平林 弘久・医	山本 慎一・医	八竹 利明・歯
垣淵 正男・医	竹田 章彦・医	廣利 浩一・医	吉岡 信也・医	弓場 成訓・歯
陰下 敏昭・医	竹田 晃・医	廣瀬 宗孝・医	吉田 泰久・医	鄭 淳太・薬
金田 邦彦・医	武田 学・医	藤岡 宏幸・医	吉原 哲・医	西川 真司・薬
川端 岳・医	橘 史朗・医	藤木 暢也・医	李 進隆・医	吉田 太郎・薬
北村 嘉章・医	辰巳 弘・医	藤本 久貴・医	和田 義孝・医	
久呉 真章・医	塚本 卓也・医	藤原 進・医	新井 茂俊・歯	

第38期兵庫県国民健康保険診療報酬審査委員名簿

青木 康夫・整	大西 尚・内	鈴木光太郎・内	西庵 克彦・内	村岡 憲次・歯
朝田 真司・内	岡村 縁・内	須山 徹・脳	錦 和彦・歯	村山 知行・内
荒木 邦公・整	上村 清仁・歯	関 良太・歯	延沢 彰・内	毛利 昭郎・麻
安藤 浩司・歯	川井田徳之・泌	竹内 一喜・整	橋本 創・外	森本 敬祐・歯
伊賀 俊行・眼	菅野 一郎・薬	竹内陽史郎・内	花川 公磨・内	山本 修平・歯
五十嵐 充・耳	木村 道・内	田中 晴夫・内	福井 威志・内	横田 光・産
伊澤 弘・内	児島 隆介・内	谷口 賢蔵・小	藤岡 武人・内	米田 豊・内
今井 敏夫・泌	小高 正裕・内	富永 幸治・内	前田 信証・外	渡部 一也・歯
大江与喜子・内	坂田 哲啓・外	中西 裕子・眼	松岡 弘高・内	
大北 実・内	杉木 雅彦・内	中村 正・内	松本 卓・内	

秋本 常久・薬	川北 直人・外	関川 明人・歯	西浦 哲雄・内	矢野 雅文・外
吾妻 眞幸・内	河村 肇・産	高倉 正裕・内	西岡 昭彦・外	山崎 亨・内
今井 康雄・内	荻田 典生・内	高原 秀典・外	尾藤 利憲・皮	山下 晴央・脳
江原 重幸・内	楠原 英明・歯	竹尾 正彦・外	日野 高睦・整	山西 行徳・精
大谷 卓弘・整	後藤 直大・外	谷山 明子・内	前田 希・歯	山本 英雄・精
大野 伯和・外	近藤 威・脳	豊川 晃弘・外	真垣 一成・内	吉田 秀次・歯
岡 伸俊・泌	坂井 諭・歯	中島 憲治・歯	松原 司・整	脇田 昇・外
春日井博志・内	坂井 智代・眼	長畑 洋司・外	松村 英治・歯	和田 聡子・内
加茂 統良・皮	杉安 保宣・内	中村 功・内	水谷 肇・内	
河北 誠二・耳	関 保道・内	成山 硬・内	森本 泰文・歯	

明石 昌也・歯	堅田 博行・薬	佐藤 四三・外	副島 俊典・放	福本 聡・外
安積 靖友・外	門口 啓・内	佐藤 美晴・外	瀧 琢有・脳	細田 弘吉・脳
栗野孝次郎・内	北村 嘉隆・脳	佐貫 毅・内	滝内 聡・歯	松井 聖・内
井口 哲弘・整	木下 保・歯	塩見 洋作・耳	橋 進彰・歯	間森 聡・内
井上 智夫・内	喜吉 賢二・産	篠 裕美・内	永井 宏・皮	見野 耕一・精
上谷 良行・小	小管 浩文・外	正田 悦朗・整	中村 毅・外	向原 伸彦・外
太田 恭介・外	小谷 穰治・外	白坂 大輔・内	中本 光春・外	山本 満雄・外
大西 祥男・内	小林 研二・外	杉本 健・内	濱辺 豊・外	山脇 吉朗・形
岡田 幸也・整	小松原 彰・歯	鈴木 透・泌	原田 俊彦・整	
影山 恭史・内	阪本 尚典・歯	石 亦文・歯	福永 睦・外	

税経部より

税務調査の心構え

調査は任意 毅然とした対応を

協会税務講師団

中村

明税理士

象の期間・帳簿書類など

調査ルールは変わらない

国税庁は従来のKSK（国

税管理システム）を進化させたKSKⅡを令和8年度4月より運用開始します。すべて金融機関との情報共有等あらゆる個人情報を集約化するこ

事前通知への適切な対応を

税務調査は納税者に電話で

調査であるべきですが、情報を盾に事績にこだわる強権的な調査の増加が懸念されていま

担当者、場所、目的、対象となる税目、調査の対

身分証明書の提示を求め、所属や氏名、調査理由、調査期間などを確認しましょう。

調査当日には毅然と対応

調査当日は、税務署員には

進めなければなりません。調査時は金庫・机の引き出し・スマホ・私物等勝手に調べることはできません。例えば「パソコンを見せてほしい」

〈税務調査10のポイント〉

- 事前通知の内容をチェックシートで確認
- 無予告の調査は理由を問いただし、日を改めさせる
- 捜査令状のない調査はすべて任意調査
- 調査の理由を確かめ問題点を明らかにして対応
- 立会人を置き、メモや録音で内容を確認
- 帳簿等の持ち帰りは断り、現場での調査を徹底させる
- 任意調査でカルテ提示の義務はない
- 承諾のない反面調査には強く抗議を
- 調査に関係ない場所への立ち入りは断る
- 調査終了時には書面等による納得のいく説明を求める

月刊保団連臨時増刊号

『保険医への税務調査 2018年改訂版』



事前通知チェックシートや心構えなど、税務調査への備えとなる1冊。会員頒価1000円(送料込)。ご注文は、税経部 ☎078-393-1807まで

必ず断りましょう。不当な調査をチェックするために、メモや録音をと

また、臨場時のやり取り

で、国税庁は「質問応答記録書」の作成（法律上の強制力はない）を税務職員にノルマ化しています。特に「不正

事案として重加算税を課すた

また訴訟となった場合に税務署側の「証拠資料」となり

ますので、サイン（押印）を

強要してきますが、まずは必

ず内容を確認し、恣意的な箇

所は是正を求めることが重要

税務署員は調査終了時に、「調査結果」（法74条11項）

の説明をしなければなりません。修正すべき事項は納得するまで話し合いを持つこと、

修正申告の勧奨があっても、

安易にサイン（押印）に応じ

ないことが大切です。また問

題がなければ「是認通知」の

送付があります。

カルテ開示には応じない

医師・歯科医師は、医師法・歯科医師法とは別に、刑法

等により厳格な守秘義務が課

せられています。患者さんの

個人情報を含むカルテの開示

を求められても応じてはいけ

ません。自費診療収入の額な

どの会計記録を診療記録であ

るカルテには記さないよう

に、日常からの注意も徹底し

ましょう。

「お尋ね」文書にご注意を

税務署は「申告内容のお尋

ね」といった行政指導文書を

送付して呼び出していますが

最近の例では間違いは明らか

な場合、呼び出す手間を簡略

にするため修正申告を送り付

けてくる場合もあります。

文書を発送し納税者に判断

を委ねる等々で接触を増やそ

うとしています。行政指導は

法律上「任意の協力によっ

て」実施するものです。応じ

ないために不利益な取り扱い

を行うことは禁止されていま

すので、安易に回答しないよ

うに気をつけましょう。

調査の通知の際には協会

（☎078-393-1807）や税

理士にご相談ください。

第35回反核医師のつどいin東京 参加記

反核医師の会は8月30日、31日にかけて、東京都内で「第35回反核医師のつどいin東京」を開催。「被爆80年反核平和運動・被爆者支援・被爆医療の歴史を学び継承しよう」をテーマとし、日本被団協代表委員の田中熙巳さんや若手医師らが登壇するシンポジウムや俳優の斉藤とも子さんの記念講演などが行われた。全国から186人が集まり、兵庫協会からは5人が参加した。近重民雄副理事長・松岡泰夫評議員の参加記を掲載する。

ヒロシマからフクシマ、そして未来へ
～肥田舜太郎先生の教えを胸に。

副理事長 近重 民雄

私は斉藤とも子さんという名前が聞いたことがある、顔もどこかで見たことがあるという程度の認識でした。

彼女は一999年に井上ひさしの戯曲で、「父と暮る」という役で出演されました。被爆者の役をするなら被爆者の気持ちになって演じる必要がある。それで実際にヒロシマ



記念講演をした斉藤とも子さん

シマに行って、直接3人の被爆者の方の経験や生活そのものを十分時間をかけて聞いたという大変な努力家です。

また、自ら被爆し生涯、被爆者医療にかかわられた肥田舜太郎医師と交流されました。胎内被爆による原爆小頭症の患者さんやその家族との交流(きのこ会)や、その後のフクシマの被ばく者との交流など積極的に活動されており、頭が下がる思いです。

～自分の講演が終わっても

私服に着替えられ、次の座談会を一番前で熱心に聞かれました。神戸市北区のご出身ということで、機会があれば兵庫県保険医協会にお呼びしてはと考えています。

後半は特別企画、若手医師・医学生との座談会でTPNW(核兵器禁止条約)締約国会議に参加したことについてのディスカッションが行われました。

この企画の特徴はLive-Qという外部ツールを利用していたことです。このツールを使えば講演者への質問は当然ですが、これ以外にフロアの人たちにリアルタイムでアンケートをとったりクイズを出したりすることもできます。

挙手や質問用紙よりもハードルが低いのか、質問する人

が大勢みられました。兵庫県保険医協会でも機会があればもよいと思います。

「父と暮らせば」から
力強いメッセージ

評議員 松岡 泰夫

反核医師の会の2日目、斉藤とも子さんの講演「ヒロシマからフクシマ、そして未来へ」肥田舜太郎先生の教えを胸に。」を聞いてきました。

民医連の大先輩で、かつて埼玉県連の理事長だった今は亡き肥田舜太郎先生と、彼女との密な関係には「目から鱗」の驚きでした。

肥田先生は、原爆投下時には広島陸軍病院に勤務する軍医でした。原爆投下の前日に往診依頼があり、広島から6キロメートル離れた瀬戸内

海に島に抜けました。遅くなったので、その翌日に広島に帰る予定でしたが、その帰る日に原爆が落ちました。

1日遅いで先生は原隊に復帰しましたが、広島は全くの焼け野原でした。被爆し生き残った人が大やけどをし、火傷で垂れ下がった皮膚を引きずりながら徘徊し、そして死んでいきました。

またその時の肥田先生の経験では、直接被爆した人ではなく、後で救援に駆けつけた軍人軍属がしばらくたって体

環境・公害対策部「明石川流域PFAS汚染視察会」

環境・公害対策部は9月7日、「明石川流域PFAS汚染学習会&視察会」を開催し、会員ら21人が参加した。PFASによる水質汚染が問題となっている明石川流域を、住民でつくる「PFAS問題を考える西区有志の会」の松本勝雄氏の案内で見学した。参加した松浦伸郎先生と眞田幸昭先生の感想を紹介する。

感想 文
産廃下流で高濃度PFAS
疾病予防へ具体的対策を

総勢20人以上の先生方が参加され、地元で熱心にPFAS汚染の実態を調べておられる松本さんがわれわれに地元の現状を詳しく話していただき、その後現場の視察を行った。PFASは全国的にもまだ詳しいことはわかっておらず、今般問題になりかけている物質であり、PFASが検



参加者皆で記念撮影。高濃度のPFASが検出された産廃下流付近で

所もある程度わかっているように思われた。高濃度の水路の上流には管理型産廃最終処分場があり、さらに高濃度の水路の上流には安定型最終産廃処分場もある。このため管理型でさえ長年の遮水工の使用で仕切りとなっているビニールシートが劣化し、PFASが流れ出たものと推測された。

すみよい環境を作るには具体的にどうすればよいかを真剣に考え実行する時代がすぐ

もう一方の安定型の産廃処分場では廃棄物からのPFAS流出が直接地中に入り流水に混入したものと考えられた。それ以上は様々な外庄が感じられ十分な説明ができない状況になっていると思われる。

工場から出る化学物質の検出に関しては水俣病やPCB問題などと比較的良好な経過をたどっている。工場の生産現場では様々な有害物質が排出されることは致し方ない、経済の発展がより重要であるという昭和の戦後経済発展した時期の考えが今もそのまま生きているように感じられる。

感想 文
明石川のPFAS
全国で連携し科学的検証を

9月7日(日)に開催された播州平野東端を流れる明石川流域PFAS視察会に参加した。厳しい残暑の中、術後の身で大変キツかったが、得るところはとても多かった。無味無臭の上、PFASの認知度がまだまだ低く、欧米のように然したる法的規制もなく、安全基準(註)も定まらないので、実質的に放置されている感が強い。以前から



明石川に沿って上流へ移動しながら見つかったPFAS汚染や周辺の環境を説明する松本さん(右2人目)

この問題に真摯に取り組んでいた松本勝雄さんの説明と引率で、個人ではとても回れない場所を、効率よく見学できてとても感謝しています。有難うございました。被害が大きくなる前に、いっその啓発活動と関連企業による汚染物質の河川への流出、放流を止めさせなければならぬ。そして、古くから作られているという歴史遺産

水道のPFAS濃度は下がっているとのことのお話であったが、使用済の活性炭フィルターは、広島県の業者によって、再生利用されているという。広島県保険医協会とも連携して、(註)「安全基準は先にあら

課題である。すでに、岡山県吉備町、摂津市(住民が公害調停申請)、愛知県豊川町、東京都多摩地区でも住民運動が立ち上げられている。兵庫県では先んじて積極的な活動をしておられる丸尾牧県議などのPFAS全国オンライン連絡会に、合流することも必要ではないか。明石高専の学生さんたちからもアドバイスをお聞きした方がよい。

行政は、住民に不安を与えたくないという意向らしいが、やはり、科学的検証のもと、事実をつまびらかにし、正しい知識があつてこそ、被害を予防することができる。



田中熙巳さん(右2人目)らが被爆者運動の継承をテーマに語り合ったシンポジウム

爆ぶらぶら病」と言われる状況も、被爆の影響であると先生は断言されていました。斉藤さんは、大学院で社会福祉の学びを深め、被爆者の方を研究テーマとされている。その時は肥田先生からは厳しいアドバイスもあったようですが、素晴らしい師弟関係だったようです。

講演の中で、斉藤さんが出演された「父と暮らせば」という演劇を、実際に「朗読」で再現してくれました。その中で、原爆で亡くなったはずのお父さんが現れて、「おまえの仕事は、二度と原爆の悲劇が起こらないようにすることじゃけん」と強く語られました。

一反核医師の会へ、
ご入会のお願いー

あなたの一歩が、核のない社会への希望になります。どうか、私たちとともに歩んでください。

※本紙に入会申込用紙を同封しています。
お問い合わせは、☎078-393-1807まで

2025年神戸市長選挙にあたって

開業保険医師、及び歯科医師の 重点要求（案）

はじめに

2025年神戸市長選挙

は、ポスト・コロナ時代の地域医療再構築と、急速な少子高齢化、物価高騰による暮らしの困難が深刻化する中で行われる。政府は社会保障費のさらなる抑制を進め、病床削減や負担増を強行し、医療・介護現場へのしわ寄せが拡大している。全国有数の政令指定都市である神戸市の市長の姿勢は、地域にとどまらず、国の政策にも影響を与える重みを持つ。

しかし現久元市政は、巨額を投じる三宮再開発や神戸空港の国際化などに偏重し、郊外・人口減少地域の医療や福祉、交通など生活インフラを切り捨ててきた。また、公約に掲げていた「中学生以下の医療費無料化」は事実上反故にされ、国保料の独自控除や法定外繰り入れを廃止するなど、国の制度改革に追随する姿勢を取ってきた。

われわれは地域医療の担い手として、医療政策はもうろんのこと、市民の暮らしと平和、安全を守るために、下記の政策提言を掲げ、その実現を次期市長に強く求めるものである。

I、神戸市の医療 施策について

1、地域医療・公衆衛生体制

を充実すること

①物価高騰で苦しむ医療機関に市として独自の財政措置を行うこと。

②コロナ禍の教訓を活かし、医療提供体制や保健所の体制を抜本的に見直し、感染症病床やICUの増床、検査体制を充実させ、保健所を各区に再配置し、地域住民の健康に責任を持てるスタッフを配置すること。

③北区の地域医療の核である済生会兵庫県病院と三田市民病院との統合再編は、地域の医療関係者や患者、住民の声を聞き、慎重に行うこと。

④死亡事故を繰り返す神戸徳洲会病院が安全に医療を提供できるよう監督することともに、同病院が垂水駅前に新設予定の病院が、約束通り「産科・小児科救急を含めた救急機能を持った総合病院」として継続的に役割を果たせるのか、慎重に審査・指導を行うこと。また、25年開院予定が白紙となったことにより、市内西部の産科・小児科の医療提供体制をどう構築するのかを示すこと。

⑤西市民病院の移転・新築計画にあたっては、基本構想に従い、病床数削減を行わず、救急医療、小児・周産期医療、感染症・災害医療などの政策的医療への対応を充実させること。

⑥六甲病院の灘区から、東灘区への移転にあたって、地域の医療提供体制に障害が生じ

ないようにつづること。

2、福祉医療制度を拡充すること

①子どもの医療費助成は、高校3年生世代まで通院・入院とも無料とすること。

②重度障害者（児）、ひとり親家庭等への助成内容・対象を拡充すること。

③流行性耳下腺炎予防接種への助成を拡大すること。定期接種開始以前の小児へのB型肝炎予防接種の推進のために助成制度を新たに創設すること。

④小児ぜんそくに対する公費負担を復活させること。

⑤院外処方における薬局での負担をなくすること。

⑥高齢者の医療費助成制度対象を広げ、該当する人口の半数程度を対象とすること。

⑦補聴器購入費助成制度を創設すること。

3、国民健康保険を改善すること

①一般会計からの法定外繰入を行い、市民が安心して払える保険料にすること。

②国保料滞納者の特別療養費制度への移行は、本人の事情を良くくみ取り、慎重に行うこと。

③国保法44条による一部負担金免除を拡充すること。

④国保法77条の国保料の独自軽減制度について、対象所得と減免割合を拡大すること。

⑤国保広域化による統一保険

料押し付けに反対し、国庫負担増を要求すること。

⑥神戸市の独自控除方式を復活すること。

⑦中学3年生までの、子どもの保険料（均等割）は、無料にすること。

⑧神戸市国保加入者全員に、資格確認書を交付すること。

4、歯科医療

①歯科技工士（所）や、歯科技工士の研修、育成のための補助金を支出すること。

②歯科検診・予防活動のセンターとなる口腔衛生センターを設置すること。

③学校歯科検診の結果と受診実態を公開し、受診率向上を図る対策、口腔崩壊の子ども対策をとること。

④学校歯科検診で「歯列不正」「咬合異常」を指摘された学童・生徒の歯列矯正費用に関して助成制度を創設すること。

⑤歯科技工士学校を市内に創設すること。

5、介護保険制度を改善すること

①自己負担分の公費補助や食費・居住費助成を行うこと。

②介護保険法に基づき「地域支援事業（総合事業）」の利用上限の緩和を行うこと。

③介護事業者の経営支援や介護職員の待遇改善のために財政的措置をとること。保険料減免制度の所得制限を緩和すること。

6、市民の健康を維持する環境を整備すること

①巨額の費用を投じる三宮の巨大再開発は見直し、費用を医療・福祉の充実に使うこと。

②神戸製鋼により市街地に増

設された石炭火力発電所3・4号機の稼働を中止するよう、同社に求めること。

③阪神・淡路大震災時のアスベスト吸引曝露の可能性と健康被害のリスクについて広く持続的な啓蒙活動を行い、曝露の可能性のある者へのハイリスク検診としてのアスベスト検診の強化・充実を行うこと。

一般肺癌検診においては職業曝露のみならず、環境曝露を意識した問診を具体的に

行うこと。建築物解体工事においては専門資格所持者によって設計図書に基づき、事前にアスベストの有無を厳しく監視するとともに、一定規模以上の解体工事に際しては、事前に立ち入り調査を行うこと。

II、国政の重要 課題について

7、診療報酬増を求め、患者負担増に反対すること

現在、政府は診療報酬を抑制し続ける一方、患者負担のさらなる引き上げを進めようとしている。高齢者の負担増やOTC類似薬の保険除外といった施策は、必要な受診を妨げ、健康格差の拡大を招くおそれがある。一方、医療機関は物価高騰や人件費上昇の中で経営が逼迫しており、地域医療の維持のためには診療報酬の大幅な引き上げが不可欠である。国民が安心して医療を受けられる社会を守るためにも、診療報酬引き上げ、患者負担増反対を国に強く求めるべきである。

8、国民監視に道をひらく「デジタル改革」を改めるよう求めること

政府はオンライン資格確認

義務化・保険証廃止を端緒に医療DXを進めようとしている。しかし、この政策には医療機関の負担増や、個人の医療情報の漏洩リスク増大を伴う。市民の個人情報保護し、市民の自己情報コントロール権を確立すべく政府に働きかけるべきである。

9、原発・石炭火発ゼロをめざし、再生可能エネルギーへの転換をめざすこと

史上最悪の被害をもたらした福島第一原発事故は、未だ収束しておらず事故原因の検証も不十分な中で、原発の再稼働は断じて容認できない。県の一部が50km圏内となる福井県の原発の再稼働に反対し、全原発を廃炉にする道に踏み出すよう求めること。同時に2050年にCO₂排出実質ゼロの目標を実現するため、市内の石炭火発の新増設を認めず、再生可能エネルギーへの転換を促進すること。

10、災害被災者の生活復興を支援すること

阪神・淡路大震災から30年となるが、未だ被災者の生活再建はままならない。これらの大震災以来続く、「創造的復興」に名を借りた被災者の生活再建とかげ離れた大型公共開発路線を改め、支援金額の抜本的引き上げや、一部損壊への対象拡大で被災者生活再建支援法の抜本的充実を行うよう国に求めること。

11、非核「神戸方式」をまもり、憲法を基盤とした市政をめざすこと

世界に誇る非核「神戸方式」を堅持し、神戸から非核と平和の理念を発信すること。

岡崎史典氏とともに

神戸市の医療を守り充実させるアピール

2025年9月27日

市民にあたたかい神戸をつくる医師・歯科医師の会

神戸市内すべての医師・歯科医師の皆さんへ。

10月26日の神戸市長選挙は、物価高騰や人件費上昇で経営危機にある医療機関を存続させ、市民の命と健康を守るために極めて重要な選挙です。

久元喜造市政は、中学生以下の医療費無料化を撤回し、「医療費無料がいいなら三木や明石に行けばいい」と発言。国保料の独自減免や法定外繰り入れを廃止し、市民負担を増やしてきました。結果、兵庫県で中学生までの医療費無料制度がないのは神戸市だけです。水道料金・バス運賃・下水道料金なども相次いで値上げされ、市民の暮らしはますます厳しくなっています。

さらに、市内でも医療機関は長年抑制され続けてきた診療報酬と、物価高騰や人件費上昇で、厳しい経営を強いられていますが、神戸市は、大阪市や仙台市のように、独自の医療機関向け財政措置を実施していません。他にも神戸市立医療センター西市民病院の新築移転、医療法人若葉会六甲病院の灘区から東灘区への移転、済生会兵庫県病院の三田市民病院との統合、医療法人徳洲会神戸徳洲会病院の新築移転等、神戸市内には、地域の医療提供体制を左右する様々な課題がありますが、市として地域住民、地域の医療関係者の意見を聞き、必要な財政的支援も含めて、適切な対応をとることができていません。

一方で市政は、都心・三宮の再整備や大阪湾岸道路西伸事業、国際コンテナ

戦略港湾整備、神戸空港の国際化、新たな産業団地の造成など、インバウンド頼みの大型開発に合計数百億円規模の市税を投じています。建設費が物価や人件費の高騰で膨らんでも計画を見直さず、医療や福祉よりも開発を優先する姿勢が続いています。

さらに、久元市長は2025年3月、非核証明書を提出しない米艦船の入港を許可し、神戸市が全国に誇ってきた非核「神戸方式」を事実上形骸化させました。市民の命と健康、平和と安全を守る姿勢より、国や米軍への追従を優先する市政といわざるを得ません。

私たちも参加する「神戸・市民要求を実現する会」事務局長の岡崎史典氏は、物価高騰に苦しむ医療機関・介護施設への支援、保健所の復活、病院統合・病床削減ストップ、国保料・介護保険料の引き下げ、高校卒業までの医療費完全無料化を掲げています。市民生活と平和を守り、医療を再建するために、市政を市民にあたたかい方向へ転換しましょう。

私たち医師・歯科医師の声を結集し、岡崎史典氏の当選をともに実現しましょう。

※神戸支部の会員医療機関には、本紙にアピール賛同用紙と募金用紙を同封しています。ぜひご協力をよろしくお願いします。

兵庫保険医新聞

「神戸市長選挙 投票へ行こう！」
会員投稿を募集します

神戸市政へ望むこと、思うことについて投稿を募集します。

締 切 10月16日(木) 文字数 600字程度

送付先 E-mail:konishi-s@doc-net.or.jp FAX:078-393-1820まで

国際部が韓国・大邱市医師会の学術大会に参加

日本の医療制度伝える



総合学術大会で大邱市医師会のメンバーと記念写真

国際部は、韓国・大邱市医師会が同市内で9月7日に開催した総合学術大会に参加した。西山裕康理事長が分科会司会を務め、国際部から、水間美宏部長、半田伸夫副理事長、坂口智計理事が演題発表し、30人が参加した。

演が行われた。

水間先生は「COVID-19 measures learned from Daegu, Ultrasound at the fever outpatient clinic in Kobe」をテーマに講演。初めに大邱市でのコロナ対応の学習会をきっかけとした協会と大邱市医師会との交流の経過を紹介。勤務する病院では、CT

検査室と発熱外来の出入り口が近く感染拡大防止のためCTが使用できず、ポケットエコーなどポイントオブケア超音波によりコロナを含む検査を実施した例を紹介。参加者からは「韓国では寝たきりの患者以外に超音波検査を実施することは少ない。災害時などCTが使えない時にも有用だとわかった」などの発言があった。

半田先生は「What is a General Practitioner (GP) or Home Doctor?」をテーマに講演。日本の一般開業医は慢性・急性疾患の診療の他、手術も実施し、必要な場合には病院の専門医に送る役割を果たしていることを、自院での事例を紹介しながら示した。その他、韓国と保険適用となる診療範囲の違いや、日本では大病院への受診には紹介状

が必要など医療制度の違いを紹介。参加者の「イギリスのような登録医制度についてどう思うか」との質問に対し、「フリーアクセスを阻害する制度には反対」と回答。その他、GPとしての開業を考えているが必要な設備は、などの質問も寄せられた。

報告

韓国・大邱訪問記
過去を学び未来に向かう

国際部長 水間 美宏

2025年9月7日、韓国・大邱市医師会の学術大会に招待され、大邱市医師会と兵庫県保険医協会理事長の司会で国際部の3人が講演しました。

私は日韓の歴史を学ぶため、1日早く大邱に行きました。自分で市内を回るつもりでしたが、大邱市医師会から申し出があり、私が希望した

全ての場所を案内してもらいました。

この運動はすぐに韓国全土へ拡がり、富者も貧者も多く、民衆が費用を拠出ししました。運動は未完のまま終わりましたが、その思想は現在の韓国の市民運動に受け継がれたと言われます。

【90階段】
1919年3月1日に日本統治下の朝鮮でおこった独立運動は、三一独立運動と呼ばれます。独立運動はソウルのパコダ公園から始まりましたが、瞬間に朝鮮全土へ拡がり、瞬く間に朝鮮全土へ拡がりました。

独立宣言の起草者には天道教や仏教のほかキリスト教徒も多く、大邱では大邱第一教会に集まった学生たちが市内へ続く階段を行き来しました。階段はその段数から90階段と呼ばれます。

国際部／西宮・芦屋支部市民講演会

攻撃や空爆が「日常化」
ウクライナ住民のいま

国際部と西宮・芦屋支部は

27人が参加した。

9月20日、ジャーナリストの丸山美和さんを講師に市民講演会「報告 ウクライナ被災市民の現在と私たちのできること」を、協会の会議室とオンラインで開催。会員・市民ら



ウクライナ被災市民のリアルな現状を語る丸山さん

丸山さんはポーランドの国立ヤギェウォ大学で教鞭を執りながら、戦争の続くウクライナや隣国ポーランドに避難しているウクライナ市民の取材を続けている。2回目となる今回の講演

は、戦争が長期化する中で市民がおかれているリアルな状況、変化してきた周辺国の模様を報告した。

ロシアによる「間狩り」のように、街を歩い

ている若者を力づくでバンに詰め込むなど強引な方法で兵力を確保していると実際の動画を流し報告。そうした若者は十分な訓練も積めないまま前線に送られ、ほとんどが命を落としていると語った。

そのように国内の人道状況が悪化するもと、多くの市民が周辺国に避難しているが、3年を経て周辺国でのウクライナ人への虐待が酷くなっている

と話し、避難している児童がポーランド人の集団からの暴行被害に遭った事例を紹介した。

丸山さんはウクライナで起きていることに他国の人びとが関心を失いかけていることを危惧し、「このように日本のみなさんに発信できる場が少しでも多くあってほしいと願っている。招いていただきよかった」と話した。

会場ではウクライナ出身アーティストの絵画やアクセサリーも販売。丸山さんは「売上は全てアーティストに還元するが、日本の人びとが関心を持っていてと伝えることがなによりも励みになる」と話され、参加者は作品を購入したり、写真を撮影するなどして現地の市民に思いを寄せた。



特別企画 長友ゼミナール

「若い人たちと
共に考える社会保障」

講師：佛教大学准教授 長友 薫輝氏

最新情報を随時ホームページに
アップしていきます

近畿総決起

ぜひご参加
ください●参加お申込みは、☎078-393-1807、もしくは上記
二次元コードから

薬の保険外し、病院がなくなる…

STOP!
命を奪う政治
オール近畿アクション2025

2025年11月1日(土)

15:00～

大阪・難波御堂筋ホール
b2ホール〒542-0076 大阪市中央区難波4-2-1
難波御堂筋ビルディング

●Osaka Metro「なんば」駅、13号出口直結

アーカイブス 80・100に思う

西宮市 法西 浩

離れて遠き 満州の
赤い夕日に 照らされて
友は野木(のぎ)の 石の下♪

120年前、日露戦争で日本が戦勝国であったが、当時日本国民の不満が積もっていた、という。「戦友」として歌われていた、という。この後、第二次世界大戦では禁止された。

この歌は80年前、戦地から帰ってきた兵隊さんが歌っていたのを何度も聞いていて覚えてしまっていた。アーカイブス放送が頻回にされるたびに思い出される。

私は幼少期に起こった心的外傷PTSD(Post Traumatic Stress Disorder)で苦しんでいる。

今メディアでは、アーカイブス80・100の放送がさかんである。私は昭和12年(1937)生まれて、80年前のストレスで悩んでいる。

そのストレスを発散する反戦歌を紹介しよう。

◇◇ここは 御国(おくに)を 何百里 歌って、社会党に入れると言っていたのを覚えている。

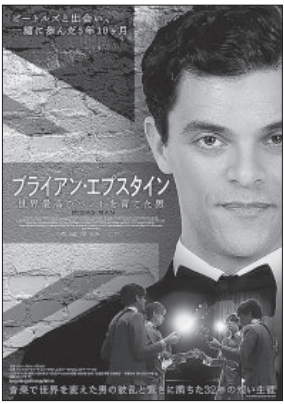


白岩 一心

「ブライアン・エプスタイン」
世界最高のバンドを育てた男

20世紀・世界最高バンドと評される「ザ・ビートルズ」の優れたマネージャーの生涯に焦点を当てた実話に基づく伝記映画「ブライアン・エプスタイン」を紹介しします。

ビートルズは、現在も人



©STUDIO POW (EPSTEIN).LTD

インは業務過多による過労、自身が同性愛者であることによる偏見などに苦しみます。そ

国への陳情方法に対する ひとつの提案

西宮市 伊賀 幹二

6月にALSと診断された患者さんから相談があった。進行を遅らせる効果が期待できるV12製剤(ロゼバラムン)について、2024年10月に良好な治験結果から保険適用となり、使用された個人の感想でも改善したとの声があるが、8月末現在で出荷調整されていて、いまだ入手困難で使用できないとのことであった。

その患者さんは症状が徐々に進行しているので不安な毎日を送られている。

ALS協会は、2025年2月にロゼバラムンのことを国と製薬会社(エーザイ)に陳情しているとのことであった。厚生労働省はロゼバラムン安定供給についてエーザイに継続的報告を求め、エーザイは、増産と追加製造所の整備をすすめ、厚生省は審査短縮など迅速に対応するということがあった。

陳情から半年もたっているにもかかわらず現場ではまだ出荷調整であるのだから、その理由と進捗状況を国と製薬会社はALS協会に返事するべきであろう。

問題解決能力のある人間なら、うまく作動していない律速段階を明確にし、個別の改善策を出していく。それには、国が制御しているの

は、行政として間違っていたことは間違っていたといえる文化、必要なら担当課(または省庁)を超えての議論ができる体制に変える必要があるだろう。

入手困難な律速因子は何なのか、議論するには以下のデータが必要なのでエーザイのMRに質問した。

・ロゼバラムンの月産は何バアルで、過去1年間でどれくらい増産できているのか。

・何名のALS患者に使用されていて、薬を待っている人は何名か？

会社からの回答ではロゼバラムンは約2000名に使われている以外は、私たちが要求した具体的数字や公表されない理由については返事がなかった。ロゼバラムンは薬価が1万円くらいなので、会社として増産意欲がさがること

はない。増産を止めている原因は高く設定された医療費のために、国が制御しているの

だろうか、データを見れば推測できるだろう。

この事象は、現在処方してほとんど手に入らないエリスロシンやAMPcも同じだろう。想像で薬価が安すぎるからと考えられたが、やはり適切に増産してもらうにはロゼバラムンの場合と同じくデータが必要である。

現代経済学は、現代経済が貨幣経済であるにもかかわらず、お金とは何かという問いに対して何の明確な答えを持たないままで発展してきた。これは致命的である。街中で

聞いてもお金とは何かを誰も知らないのである。

お金はなぜに通用するのか？ ある人はこの問いに対して、みんながお金をお金として信用しているから、通用

しているのであるという。ある人は税金として納めなければいけないからお金として通用するのであるという。

本当にそうであろうか？

では誰も税金を払わなくてもよい社会ではお金の価値は存在しないのであろうか。

例えば、政府が必要なお金のために、国債を発行しなくては誰からも税金を取らなくてはよい国にしてしまったら、通貨は通用しないのであろうか？ いや理論的にはそのような国があってもおかしくはない。政府が必要なお金は政府が国債を発行して得て、それを国民に払うのである。そうすれば、お金は偏りこそすれ、政府から払い出されるお金によって、国民は通貨を使う社会なのである。こんな社会があってもよさそうである。

それは丁度、政府が管理する貨幣制度によってお米を買い上げ支払い、鉛筆を買い上げ支払い、紙を買い上げ支払い、必要なガソリンを買い上げ支払い、宿舎を建ててもらい買い上げく国民はそれらの代金で物を買う社会である。税金はなくてもよいのである。インフレは発生するかもしれないが、従って、税金を払わなければならないからと言って、お金がお金として通用するのであるという理論は成り立たない。

それともこのように税金を払わなくてもよいのであればお金として認められないからと政府発行のお金の受け取りを拒否するのであるだろうか。

導つよね。

(つづく)

お金とは何か？ その1

小野市・歯科 幸田 雄策

現代経済学は、現代経済が貨幣経済であるにもかかわらず、お金とは何かという問いに対して何の明確な答えを持たないままで発展してきた。これは致命的である。街中で

聞いてもお金とは何かを誰も知らないのである。

お金はなぜに通用するのか？ ある人はこの問いに対して、みんながお金をお金として信用しているから、通用

しているのであるという。ある人は税金として納めなければいけないからお金として通用するのであるという。

本当にそうであろうか？

では誰も税金を払わなくてもよい社会ではお金の価値は存在しないのであろうか。

例えば、政府が必要なお金のために、国債を発行しなくては誰からも税金を取らなくてはよい国にしてしまったら、通貨は通用しないのであろうか？ いや理論的にはそのような国があってもおかしくはない。政府が必要なお金は政府が国債を発行して得て、それを国民に払うのである。そうすれば、お金は偏りこそすれ、政府から払い出されるお金によって、国民は通貨を使う社会なのである。こんな社会があってもよさそうである。

それは丁度、政府が管理する貨幣制度によってお米を買い上げ支払い、鉛筆を買い上げ支払い、紙を買い上げ支払い、必要なガソリンを買い上げ支払い、宿舎を建ててもらい買い上げく国民はそれらの代金で物を買う社会である。税金はなくてもよいのである。インフレは発生するかもしれないが、従って、税金を払わなければならないからと言って、お金がお金として通用するのであるという理論は成り立たない。

それともこのように税金を払わなくてもよいのであればお金として認められないからと政府発行のお金の受け取りを拒否するのであるだろうか。

導つよね。

(つづく)



・ハンブルクで発売された一枚のレコードが話題を集めていると知ったブライアンは、そのバンドが出演する地下クラブ「キャヴァー」を訪れます。その4人組バンドこそがビートルズ。地元リバプールで結成された、無名に近い20代の若者たちでした。

そのサウンドに魅了されたブライアンは、彼らを世に出したいと考え、家業の傍らバンドのマネージメントを手がけることを決意します。彼らの初代マネージャーから権利を譲り受け、早速メジャーデビューのための企画構想演出や多額の資金集めなどを始めますが

珠玉の有名な曲とともに、ビートルズ全盛時とマネージャーの過酷な人生を見つめてみませんか？ 映画館の大スクリーンで鑑賞をお勧めします。

【赤穂郡・白岩歯科医院】

支部総会・記念企画のご案内

■西宮・芦屋支部■第45回支部総会・市民公開講演会

災害時にも安心できるトイレ環境づくり
～トイレで困る人を減らすために～

日時 10月18日(土) 14時30分～
会場 西宮市プレラホール(阪急西宮北口駅直結)
講師 日本トイレ研究所 代表理事 加藤 篤さん
お申し込み・お問い合わせは、☎078-393-1840まで

■加古川・高砂支部■第44回支部総会・市民講演

今後の地域医療・ケアの課題

日時 10月18日(土) 15時～16時30分
会場 加古川商工会議所4階大会議室(加古川プラザホテル隣)
講師 西村医院 西村正二先生
お申し込み・お問い合わせは、☎078-393-1817まで

■神戸支部■第46回総会・記念企画

依存症と共に生きる

日時 10月18日(土) 15時～17時
会場 県農業会館大ホール
記念講演 「アルコール依存と向き合う」 山口 達也氏
ミニ講演 「日常診療で依存症かな?と思ったら」 長田区・にじハートクリニック 大谷 夏実先生
会場定員 400人 対象 会員・会員医療機関職員
お申し込み・お問い合わせは、☎078-393-1807まで

■北阪神支部■第40回支部総会・市民公開記念講演

NHK「みんなの筋肉体操」でおなじみの

いつまでもいきいき元気に！
健康寿命を延ばす簡単筋トレ法

日時 10月25日(土) 15時15分～16時30分
会場 東リ いたみホール 6階 中ホール
講師 順天堂大学スポーツ健康科学部教授 谷本道哉先生
定員 100人程度
お申し込み・お問い合わせは、☎078-393-1805まで

兵庫県保険医協会

参加費無料 県内各地の特産品もプレゼント

第34回 日常診療経験交流会



兵庫県保険医協会
☎ 078-393-1801
Fax 078-393-1802
http://www.hhk.jp/

メインテーマ「ネット社会の危うさと医療のかかわり」

10月26日(日) 10時～15時

〈10時～12時：分科会、13時～15時：特別講演〉

会場地図

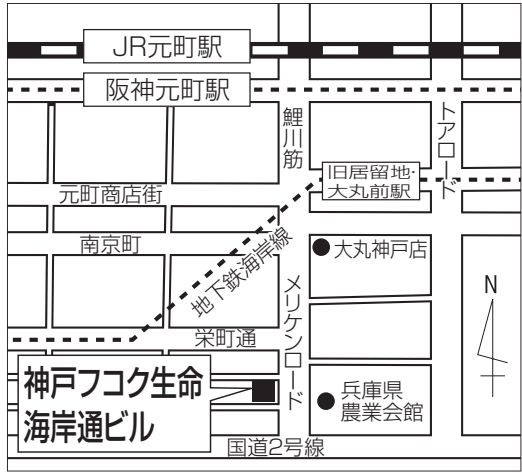
兵庫県保険医協会 会議室 (神戸フコク生命海岸通ビル)

※特別講演およびA分科会はZoom視聴によるご参加も可能

特別講演

健康格差の縮小は可能か？ 13時～15時

千葉大学名誉教授 近藤 克則 先生



【住所】神戸市中央区海岸通1-2-31
【交通】JR・阪神元町駅から南へ徒歩7分、神戸三宮駅から徒歩20分
※お車の方は周辺の有料駐車場をご利用ください。

「最高所得層に比べ最低所得層で、要介護認定を受ける者が5倍も多い」。そんな健康格差に驚いたのは、まだ日本に「先進国の中では平等な国」という幻想が残っていた2000年のことであった。発表すると多くの批判や課題を突きつけられた。「極端な例ではないか」「他のまちや指標でも見られるのか」「低所得だから不健康とは限らない」。逆に「不健康だから(仕事が続かず)所得が低いだけではないのか」「健康格差はどんなプロセスで生まれるのか」「仮に低所得が原因だととして、どんな対策があるのか」「放置すべきではないが、健康格差は根深いから縮小など無理ではないか」などである。25年の研究でわかったことをお話ししたい。

【近藤 記】



来場講演されます

【ご略歴】1983年千葉大学医学部卒業。東京大学医学部附属病院リハビリテーション部医員、船橋二和病院リハビリテーション科科長などを経て、1997年日本福祉大学助教授。University of Kent at Canterbury (イギリス) 客員研究員(2000-2001)、日本福祉大学教授を経て、2014年から千葉大学予防医学センター社会予防医学研究部門教授。2016年から国立長寿医療研究センター研究所老年学・社会科学研究センター老年学評価研究部長を併任。2018年から2024年一般社団法人 日本老年学の評価研究機構代表理事(併任)、2024年から現職。著書は『長生きできる町』(角川新書 2018)、『健康格差社会―何が心と健康を蝕むのか(第2版)』(医学書院 2022) など多数。

展示 10時～15時

・「緑(あお)い鳥・アオバトを訪ねて」「バードウォッチングin2025」「ボタニカルアート2024.9～2025.8」
(西宮市・法西医院 法西浩先生〈医師〉)

・「大気汚染の自主的調査活動の重要性について～兵庫県保険医協会空気の汚れ調査～」
(東灘区 東神戸病院 森岡芳雄先生〈医師〉)

・在宅で使う機材(CPAP、空気清浄機等)の展示(ミヤコ在宅医療サービス(株))

分科会プログラム

10時～12時(発表順は変更の可能性があります) ※協会ホームページ <http://www.hhk.jp/> に各演題の抄録を掲載予定

	報告者	医療機関名等	職 種	テ ー マ	発表時間
A分科会	1 広川 恵一	広川内科クリニック	医師	高血圧症通院者100名について～2009年より16年経過した2025年での通院継続と中止状況にみる診療課題の検討	10:05～10:20
	2 林 武志	はやし内科クリニック	医師	CKD重症化予防を目指した地域医療連携の取り組み	10:20～10:35
	3 半田 伸夫	半田医院	医師	内科開業医とかかりつけ医	10:35～10:50
	4 高森 信岳	室井メディカルオフィス	医師	日常診療における抗認知症新薬レカネマブの使用経験について	10:50～11:05
	5 高田 裕	たかたクリニック	医師	かかりつけ医と在宅ターミナルケア当クリニックの取り組みと展望―	11:15～11:30
	6 上田 耕蔵	神戸協同病院	医師	社会情報医療情報の入手経路(職員へのアンケート調査から)	11:30～11:45
	7 上田 耕蔵	神戸協同病院	医師	COVID-19感染の収束時期を推定する	11:45～12:00
B分科会	1 太田 智裕 餘家千寿子	訪問看護ステーションのむら	理学療法士 訪問看護師	訪問看護ステーションのむら、24時間365日対応体制となり3年経過しての振り返り	10:05～10:20
	2 藤井 佳朗	新神戸歯科	歯科医師	パーキンソン氏病に対する歯科的対応	10:20～10:35
	3 坂口 智計	とも歯科医院	歯科医師	日々のGP臨床で活用できる歯科矯正の小技の紹介	10:35～10:50
	4 大槻 榮人	大槻歯科医院	歯科医師	根未完成失活歯にリバスクラリゼーションが奏功した5症例	10:50～11:05
	5 泉 敏治	ハイテックデンタルラボラトリー	歯科技工士	もっと効率良い歯科業界に、歯科技工士がやり甲斐のある職業になるために	11:15～11:30
	6 阿部 勝也	阿部歯科医院	歯科医師	重篤な脳梗塞に見舞われて	11:30～11:45
	7 阿部 勝也	阿部歯科医院	歯科医師	嚥下障害のリハビリテーション	11:45～12:00
C分科会	1 古井 裕子	なつめ薬局	薬剤師	一枚の処方箋から考える薬剤師の「頭の中」と「心の内」	10:05～10:20
	2 西村ゆかり	ひまわり薬局	薬剤師	医療DXと薬局の関わり	10:20～10:35
	3 永本 浩	永本医院	医師	その補聴器(集音器)買うのを一寸(ちょっと)待って!! ～イヤモードについて～	10:35～10:50
	4 武村 義人	反核・平和部	医師	被爆80年「Don't Bank on the Bomb～核兵器にお金を貸すな～」キャンペーンを広げよう	10:50～11:05
	5 滝本 和雄	東神戸病院	医師	兵庫民医連PFAS運動の取り組み	11:15～11:30
	6 水間 美宏	国際部	医師	日常診療で役立つ「やさしい日本語」と“MedicalEnglish”	11:30～11:45
	7 木原 章雄	きはら心療クリニック	医師	『地方社会における後期高齢者の運転をめぐる問題について』～かかりつけ医として留意すべきこと～令和4年の改定を踏まえ	11:45～12:00

Zoom参加申し込み方法

下記よりご参加予定の企画に個別登録してください。登録後に案内メールが届きます。

〈特別講演〉
<https://x.gd/5ajRt>


〈A分科会〉
<https://x.gd/ncicq>


※今年はZoom視聴できる分科会はA分科会のみです。他の分科会につきましては後日動画のアップロードを予定しております。

7年ぶりに支部特産品の抽選会も開催いたしますので現地でのご参加お待ちしております。

来場参加希望者、その他お問い合わせは、兵庫県保険医協会☎078-393-1840 研究部までご連絡ください。

保険診療の請求事務・再審査請求・指導・監査などのご相談やお問い合わせは ☎078-393-1803(医科) ☎078-393-1809(歯科)